

○ | 工 事 概 要

項 目	特 記 事 項																																																																																		
▷ 1. 工事種目	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="571 331 802 362">名 称</th> <th data-bbox="802 331 940 362">新 設</th> <th data-bbox="940 331 1077 362">改 修</th> <th data-bbox="1077 331 1407 362">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>空気調和設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr><td>暖房設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr><td>冷房設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr><td>換気設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr><td>排煙設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr><td>給油設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr><td>自動制御設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr><td>屋外給水設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr><td>屋内給水設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr><td>屋外排水設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr><td>屋内排水設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr><td>屋内給湯設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr><td>衛生器具設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr><td>消火設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr><td>屋外ガス設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr><td>屋内ガス設備工事</td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○ 一式</td><td>○ 一式</td><td></td></tr> </tbody> </table>			名 称	新 設	改 修	摘 要	空気調和設備工事	○ 一式	○ 一式		暖房設備工事	○ 一式	○ 一式		冷房設備工事	○ 一式	○ 一式		換気設備工事	○ 一式	○ 一式		排煙設備工事	○ 一式	○ 一式		給油設備工事	○ 一式	○ 一式		自動制御設備工事	○ 一式	○ 一式		屋外給水設備工事	○ 一式	○ 一式		屋内給水設備工事	○ 一式	○ 一式		屋外排水設備工事	○ 一式	○ 一式		屋内排水設備工事	○ 一式	○ 一式		屋内給湯設備工事	○ 一式	○ 一式		衛生器具設備工事	○ 一式	○ 一式		消火設備工事	○ 一式	○ 一式		屋外ガス設備工事	○ 一式	○ 一式		屋内ガス設備工事	○ 一式	○ 一式			○ 一式	○ 一式			○ 一式	○ 一式			○ 一式	○ 一式	
名 称	新 設	改 修	摘 要																																																																																
空気調和設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																	
暖房設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																	
冷房設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																	
換気設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																	
排煙設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																	
給油設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																	
自動制御設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																	
屋外給水設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																	
屋内給水設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																	
屋外排水設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																	
屋内排水設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																	
屋内給湯設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																	
衛生器具設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																	
消火設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																	
屋外ガス設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																	
屋内ガス設備工事	○ 一式	○ 一式																																																																																	
	○ 一式	○ 一式																																																																																	
	○ 一式	○ 一式																																																																																	
	○ 一式	○ 一式																																																																																	
	<p>※ 種目は●印を付したものを適用する ※ 空気調和設備工事とは、空調機等を設置し暖冷房を行う工事をいう ※ 暖房設備工事とは、直暖や個別暖房のみの工事をいう ※ 冷房設備工事とは、個別冷房のみの工事をいう</p>																																																																																		

項 目	特 記 事 項												
▷ 1. 配管 1) 配管材料													
管 種	施 工 区 分												
	冷 温 水	冷 却 水	蒸 気 水	温 水	給 油	冷 媒	給 水	給 湯	排 水	通 気	消 火	ガ ス	雨 水
<input type="radio"/> 配管用炭素鋼鋼管(白)													
<input type="radio"/> " (黒)													
<input type="radio"/> 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒)													
<input type="radio"/> 塩ビライニング鋼管(VA)													
<input type="radio"/> " (VB)													
<input type="radio"/> 排水用塩ビライニング鋼管													
<input type="radio"/> 耐熱性塩ビライニング鋼管													
<input type="radio"/> 外面被覆鋼管													
<input type="radio"/> ナイロンコーティング鋼管													
<input type="radio"/> ステンレス鋼管													
<input type="radio"/> 銅管(M)													
<input type="radio"/> 保温付被覆鋼管													
<input type="radio"/> 被覆鋼管													
<input type="radio"/> ビニル管(VP)													
<input type="radio"/> " (VU)													
<input type="radio"/> 樹脂管													
<input type="radio"/> 耐火二層管													
<input type="radio"/> ポリエチレン管													
<input type="radio"/> 合成樹脂製可とう電線管													
<input type="radio"/> 鉛管													
<input type="radio"/> コンクリート管													
<input type="radio"/> 鋳鉄管													
<input type="radio"/>													
<input type="radio"/>													
<input type="radio"/>													
<input type="radio"/>													
<input type="radio"/>													
2) 弁類	<p>※ 該当項目に●印をつける。</p> <p>2列書きになっている部分は左側屋外配管、右側屋内配管とする 水道直圧及び高置タンクまでは1Mpaとし、他は各種配管の水圧検査圧力値を超える最高許容圧力を有するバルブとする</p>												
3) 試験	<p>配管途中若しくは隠ぺい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は被覆施工前に行う</p> <p>圧力値、保持時間は、標準仕様書第2編 2.9.2から2.9.5による試験終了後、報告書を工事監督員に提出すること</p>												
4) ねじ加工	<p>○ 転造ねじ加工 (蒸気還水管)</p>												

5) ステンレス鋼管継手の種類

種類	冷温水	冷却水	温水	給水	給湯	消火	備考
<input type="radio"/> プレス							ダブルプレス
<input type="radio"/> 拡管式							
<input type="radio"/> 溶接							
<input type="radio"/> ハウジング継手							

6) 埋設配管

- 防食処理 土中
 ペトロラタム系防食テープ ()
 ブチルゴム系絶縁テープ ()
 コンクリート内
 プラスチックテープ ()

地中埋設標・埋設表示テープ・屋外配管埋設深さ

	地中埋設標		埋設表示テープ		屋外配管埋設深さ		
	<input type="radio"/> 要	<input type="radio"/> 不要	<input type="radio"/> 要	<input type="radio"/> 不要	車両道路	道路以外	凍結深度
給水配管	<input type="radio"/> 要	<input type="radio"/> 不要	<input type="radio"/> 要	<input type="radio"/> 不要	GL- m以上	GL- m以上	GL- m以上
ガス配管	<input type="radio"/> 要	<input type="radio"/> 不要	<input type="radio"/> 要	<input type="radio"/> 不要	GL-0.6m以上	GL-0.3m以上	
油配管	<input type="radio"/> 要	<input type="radio"/> 不要	<input type="radio"/> 要	<input type="radio"/> 不要	GL-0.6m以上	GL-0.3m以上	

要の場合、地中埋設標は図示する箇所、埋設表示テープは屋外埋設配管部分に適用する

7) 溶接部の検査

- 目視検査 非破壊検査 (溶接部の種類 :)
(検査の種類 :)
(配管種別 :)
(使用圧力 :)
(抜き取り率 :)

8) 配管洗浄

- 詳細は標準仕様書の当該事項による
 冷温水管 給水管 (1次側 2次側)
 冷却水管 給湯管 受水タンク 高置タンク
 貯湯タンク 給湯用膨張タンク
高周波洗浄もしくは同等以上の方法による
飲料水管の場合は、端末において遊離残留塩素が0.2mg/L以上検出されるまで消毒を行う

▷ 2. 保温

標準仕様書第2編3.1.4及び5のうち保温材及び外装材は次による
断熱材は、特定フロン、代替フロン等、オゾン層を破壊する物質を含有していないこと

1) 配管

- 保温材 グラスウール ()
 ロックウール ()
 ポリスチレンフォーム ()
- 外装材 ｲ) 屋内露出
 合成樹脂製カバー ()
 アルミガラスクロス ()
 その他 () ()
- ロ) 機械室・書庫・倉庫
 アルミガラスクロス ()
 その他 () ()
- ハ) 天井内・パイプシャフト内及び空隙壁中
 アルミガラスクロス ()
 その他 () ()

2) バルブ等

3) ダクト

3) 機器類

ニ) 床下・暗渠内

- 着色アルミガラスクロス ()
- アルマット ()
- 保温なし ()
- その他 ()

ホ) その他

- その他 () ()
- その他 () ()
- その他 () ()
- その他 () ()

保温材

- グラスウール ()
- ロックウール ()
- ポリスチレンフォーム ()

外装材

- ステンレス鋼板 ()
- 溶融アルミニウム亜鉛鉄板 ()
- カラー亜鉛鉄板 ()
- その他 () ()

外気取入用ダクト及び排気用ダクトは保温を行う

保温材

- グラスウール ()
- ロックウール ()
- ポリスチレンフォーム ()
- その他 ()

外装材 イ) 屋内露出

- 合成樹脂製カバー カラー亜鉛鉄板
- 溶融アルミニウム—亜鉛鉄板 ステンレス鋼板
- アルミガラスクロス その他 ()

ロ) 機械室・書庫・倉庫

- アルミガラスクロス カラー亜鉛鉄板
- 溶融アルミニウム—亜鉛鉄板 ステンレス鋼板
- 合成樹脂製カバー その他 ()

ハ) 天井内・パイプシャフト内及び空隙壁中

- アルミガラスクロス
- その他 ()

ニ) 外気取入用ダクト及び排気用ダクト

- アルミガラスクロス
- その他 ()

範囲 イ) 外気取入用ダクト ・ 全て

- ロ) 排気用ダクト 全て
- その他 (外壁より1.5m以内)

ハ) その他

- その他 () ()
- その他 () ()
- その他 () ()
- その他 () ()

- 冷温水ヘッダー 冷水ヘッダー 冷温水タンク
- 冷水タンク 温水タンク 蒸気ヘッダー
- 温水ヘッダー 熱交換器 還水タンク
- 膨張タンク

保温材

- グラスウール ロックウール
- その他 ()

外装材

- カラー亜鉛鉄板 溶融アルミニウム—亜鉛鉄板

		○ ステンレス鋼板	○ その他 ()								
4) 冷媒被覆銅管		<table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%;"> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">液管</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">ガス管</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">結露の恐れあり ()</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">被覆厚</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			液管	ガス管	結露の恐れあり ()	被覆厚			
	液管	ガス管	結露の恐れあり ()								
被覆厚											
5) 煙道 排気筒	保温材	○ ロックウール	○ その他 ()								
	外装材	○ カラー亜鉛鉄板	○ 溶融アルミニウム—亜鉛鉄板								
		○ ステンレス鋼板	○ その他 ()								
6) 消音内貼り	施工方法は標準仕様書の当該事項による										
	施工箇所は図示したダクト及びチャンバー類とする										
	使用材料	○ グラスウール	○ その他 ()								
	厚さ	○ 25mm	○ 50mm								
	消音内貼チャンバーの寸法は外法寸法とする										
▷ 3. 塗装	ラス押え	○ 有 ()	○ 無								
	イ. 屋内露出は、室内環境対応・配慮形塗料又は水性系塗料の合成樹脂調合ペイントとする。 但し煙道、煙突は耐熱塗装とする。										
	ロ. 裸管	○ 合成樹脂調合ペイント	○ アルミニウムペイント								
		・ 蒸気管 機械室内は、アルミニウムペイント 居室及び隠ぺいは、さび止めペイント									
	ハ. 支持金物及び架台類										
		○ 合成樹脂調合ペイント	○ アルミニウムペイント								
	ニ. ダクト	* 合成樹脂調合ペイント									
▷ 4. ダクト及びダクト付属品	ホ. その他	○ アルミニウムペイント	○ 調合ペイント								
1) ダクト	方式	○ 低圧	○ 高圧1								
		○ その他 ()	○ 高圧2								
	工法	○ アングルフランジ	()								
		○ コーナーボルト	()								
		(○ 共板フランジ ○ スライドオンフランジ)									
	種別	○ 鉄板	()								
		○ スパイラルダクト	()								
		○ 硬質塩化ビニル管 (VU)	()								
		○ 矩形 (アングルダクト工法)	()								
		○ その他	()								
2) チャンバー等	イ. 外壁に面するガラリに直接取付けるチャンバー、ホッパーには排水を設ける										
	ロ. シーリングディフューザーには下記の接続ボックスを設ける										
	イ) ネック径200φ以下	: 400×400×250H									
	ロ) " 200φをこえるもの	: 500×500×300H									
	ハ. 線状吹出口には、下記の接続ボックスを設ける										
	イ) BL-S、BL-D	: 200×(長さ+100)×300H									
	ロ) BL-T、BL-K	: 250×(長さ+100)×300H									
	ニ. 天井付制気口には、特記なき場合(制気口寸法+100)×250Hの接続ボックスを設ける										
3) 防雪フード	イ. 材質	ステンレス鋼板製	○ SUS430								
			○ SUS304								
			○ その他 ()								
	ロ. 板厚	() mm									
4) 排気フード	イ. 幕板	○ 本工事	ステンレス鋼板製 ○ SUS430								
			○ SUS304								
		○ 別途工事	○ () mm								
5) セルフード	○ 丸形フード ○ 防風形フード ○ その他 ()										
	材質	○ ステンレス製									

6) 風量測定口	<input type="radio"/> アルミニウム製 <input type="radio"/> その他 () 取付箇所 1. 特記した風量調整ダンパーの上流又は下流 2. 送排風機、空調機に近接した風道の部分 3. 外気取入風道の部分 4. その他指定部分
▷ 5. 制気口 1) 吹出口・吸込口	材質 <input type="radio"/> 樹脂製 () <input type="radio"/> 鋼板製 <input type="radio"/> アルミニウム材製 <input type="radio"/> その他 ()
▷ 6. 貫通部の処理 1) 穴埋補修 2) 防火区画の処理	穴埋補修は無収縮モルタル又はロックウール保温材で補修する なお、ロックウール保温材の場合は脱落防止の措置を施す イ. 不燃材料の配管で貫通する場合は、その隙間をモルタル又はロックウール保温材で埋める ロ. 不燃材料以外の配管で貫通する場合は、建築基準法令に適合する工法とする
▷ 7. 吊り及び支持	ハ. スパンドレイルについてセルフードは抵触しない事 イ. インサート金物は、吊りボルトに対し、適正なサイズのものを選定する ロ. 断熱材使用箇所におけるインサート金物は、断熱インサート金物とする
▷ 8. スリーブ	ハ. 吊り用ボルトは、ピット内及び床下は被覆全ねじ又は丸鋼とする イ. 標準仕様書（第2編 第2章の2.2.27）による ロ. 外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブ ※つば付き鋼管スリーブ
▷ 9. はつり及び穴あけ (改修工事等)	<input type="radio"/> 非加硫ブチルゴム系止水材（使用部位： ） 既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴あけは、原則として、ダイヤモンドカッターによる 口径は、原則として管の外径（保温されるものにあつては保温材の厚さを含む）より20mm程度大きなものとする
▷ 10. インサート 及びアンカー	改修工事において、既存のインサート及びアンカーボルトは、原則として、使用しない。やむを得ず既存のインサート及びアンカーを再使用する場合は、状態及び強度を確認し、十分に清掃を行ってから使用する。 また、引張強度の確認試験については、工事監督員と協議する
▷ 11. 耐震措置	機器の固定 アンカーの耐震計算を行う機器等 * 工事監督員と協議する <input type="radio"/> 無し 確認試験 イ. あと施工アンカーの性能確認試験 <input type="radio"/> 行う * 行わない ロ. あと施工アンカーの施工後確認試験 * 行う 確認強度は工事監督員と協議する <input type="radio"/> 行わない 「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（日本建築センター発行）及び「道有施設（建築物）の総合耐震計画基準及び同解説」に基づき、耐震施工を行う。 <input type="radio"/> 一般の施設 <input type="radio"/> 特定の施設 <input type="radio"/> 甲類 <input type="radio"/> 乙類

(1) 局部震度法による建築設備機器（水槽類を除く）の設計用標準水平震度（Ks）

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
1階及び 地下階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

(注) () 内の数値は防振支持機器の場合に適用する

(2) 局部震度法による水槽類の設計用標準水平震度（Ks）

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要水槽	一般水槽	重要水槽	一般水槽
上層階 屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び 地下階	1.5	1.0	1.0	0.6

重要機器は、次のいずれかに該当するものをいう。また、一般機器とは重要機器以外をいう

イ. 災害応急対策活動に必要な施設等において、施設目的に応じた活動を行うために必要な設備機器

ロ. 危険物を貯蔵又は使用する施設において、危険物による被害を防止するための設備機器

ハ. 避難、消火等の防災機能を果たす設備機器

ニ. 火災、水害、避難の障害等の二次災害を引き起こす恐れのある設備機器

ホ. その他これらに類する機器

重要水槽とは重要機器として扱う水槽類、一般水槽とは一般機器として扱う水槽類を示す

また、水槽類にはオイルタンク等を含む

▷ 12. 総合試運転調整等

- 風量調整 ○ 水量調整 ○ 室内外空気の温度
○ 室内外空気の湿度 ○ 室内気流及びじんあいの測定
○ 騒音の測定 ○ 飲料水の水質の測定

総合試運転調整完了後、機器等の運転状態の記録及び系統ごとに各測定結果をまとめた測定報告書を工事監督員に提出する

測定報告書には、測定器名、測定日時及び測定者名を記入し、測定点を示した図面を添付する

▷ 13. 仮設工事

1) 工事用水

構内既存の施設 ○ 利用できる（ * 有償 ○ 無償 ）
* 利用できない

2) 工事用電力

構内既存の施設 ○ 利用できる（ * 有償 ○ 無償 ）
* 利用できない

3) 足場

別契約の関係請負者の定置する足場、棧橋の類は、無償で使用できる
建設機械及び車両等の出入りの際には、出入口に交通誘導警備員を配置し、一般通行者及び一般車両の安全を確保すること

4) 交通誘導警備員

なお、配置位置及び交通誘導警備員の区分は、次による

配置位置：図面による
 警備員詰所：（ 設ける 設けない）
 表 工事現場の位置と交通誘導警備員区分

工事現場の出入り口を設ける道路（路線）	交通誘導警備員区分
市街地（DID）内の路線	交通誘導警備員A
北海道（各方面）公安委員会告示による認定路線	
上記以外の路線	交通誘導警備員B

市街地内の路線及び認定路線の場合は、交通誘導警備業務を行う場所ごとに交通誘導警備員Aを1人以上配置する。

交通誘導警備員Aを配置できない場合で、やむを得ず受注者自らが交通誘導を行う場合は、工事監督員と協議すること。

5) 指定仮設

* なし 本工事（仮設計画図による）

▷ 14. 土工事

- 1) 管周囲の保護
- 2) 埋戻し土
- 3) 建設発生土等の処理

* 山砂の類 良質土 その他
 * 掘削土の良質土 山砂の類
 場外搬出（約 km 捨て場所）
 （捨て場所住所：）
 （管理者：）
 捨て土均し（ 有り 無し）

構内敷均し 構内指示の場所に堆積（図示による）
 構外敷均し
 処理費（ * 有償 無償 ）
 有り（工法：） 無し

4) 山留め施工

▷ 15. 地業工事

- 1) 砂利地業

* 再生クラッシュラン 切込砂利 切込碎石
 砂利地業の厚さ * 100mm以上
 mm（）
 JIS A5001（道路用碎石） C-40程度

▷ 16. コンクリート工事

- 1) コンクリート強度

機器類基礎等のコンクリート強度、鉄筋

強度	<input type="radio"/> 16N/mm2	<input type="radio"/> 18N/mm2	<input type="radio"/> 21N/mm2
スランプ	cm	cm	cm
施工箇所			

鉄筋種別	異形鉄筋 <input type="radio"/> SD295A <input type="radio"/> SD345 <input type="radio"/> SD390
補強筋	壁開口部 <input type="radio"/> 基準配筋による <input type="radio"/> 構造図面による
	床開口部 <input type="radio"/> 基準配筋による <input type="radio"/> 構造図面による
	その他 <input type="radio"/> 基準配筋による <input type="radio"/> 構造図面による

▷ 17. 使用機材

使用する機材は「北海道建設部建築局建築整備課 令和●●年度版設備機材等指定名簿」及び本仕様書のメーカーリストによる

メーカーリスト

機 器 名	指 定	製 造	所

空気調和設備

項目	特記事項
▷ 1. エネルギー源	○ 重油 ○ 灯油 ○ ガス (都市ガスの場 ○ 低圧 ○ 中圧) ○ 電気 ○ その他 ()
▷ 2. 空気調和方式	○ 全空気 ○ 空気一水 ○ 全水 ○ 冷媒式
▷ 3. 暖房方式	○ 蒸気 ○ 温水 ○ 温風 ○ 電気 ○ 遠赤外線 ○ 放射 ○ その他 ()
▷ 4. 冷房方式	○ 冷媒 ○ 冷水
▷ 5. 主要熱源機器及び付属機器	図内機器表による 容量等の表示、機器類の能力、容量等 (電動機出力は除く) は、原則として表示された数値以上とする
▷ 6. ばい煙濃度計	○ 設けない ○ 設ける
▷ 7. 煤じん量測定口	○ 設けない
▷ 8. 放熱器等	○ 設ける (煙道直線部に100φ以上のフランジ蓋止とする) 種別 ○ 鋳鉄製放熱器 ○ パネルヒーター ○ ファンコイルユニット ○ ヒートポンプユニット ○ ファンコンベクター ○ ユニットヒーター ○ パッケージエアコン ○ FF暖房機 ○ 電気ヒーター ○ 遠赤外線暖房機 ○ コンベクター ○ ベースボードヒーター ○ 床暖房 (○ 温水 ○ 電気) ○ ロードヒーティング (○ 温水 ○ 電気) ○ その他 ()

○ 暖房設備

項目	特記事項
▷ 1. エネルギー源	○ 重油 ○ 灯油 ○ ガス (都市ガスの場 ○ 低圧 ○ 中圧) ○ 電気 ○ その他 ()
▷ 2. 暖房方式	○ 蒸気 ○ 温水 ○ 温風 ○ 電気 ○ 遠赤外線 ○ 放射 ○ その他 ()
▷ 3. 主要熱源機器及び付属機器	図内機器表による 容量等の表示、機器類の能力、容量等 (電動機出力は除く) は、原則として表示された数値以上とする
▷ 4. ばい煙濃度計	○ 設けない ○ 設ける
▷ 5. 煤じん量測定口	○ 設けない
▷ 6. 放熱器等	○ 設ける (煙道直線部に100φ以上のフランジ蓋止とする) 種別 ○ 鋳鉄製放熱器 ○ パネルヒーター ○ ファンコイルユニット ○ ヒートポンプユニット ○ ファンコンベクター ○ ユニットヒーター ○ パッケージエアコン ○ FF暖房機 ○ 電気ヒーター ○ 遠赤外線暖房機 ○ コンベクター ○ ベースボードヒーター ○ 床暖房 (○ 温水 ○ 電気) ○ ロードヒーティング (○ 温水 ○ 電気) ○ その他 ()

○ 冷房設備

項目	特記事項
▷ 1. エネルギー源	○ 重油 ○ ガス (都市ガスの場 ○ 低圧 ○ 中圧)

▷ 2. 冷房方式	<input type="radio"/> 電気 <input type="radio"/> その他 ()
▷ 3. 主要熱源機器及び付属機器	<input type="radio"/> 冷媒 <input type="radio"/> 冷水 <input type="radio"/> その他 () 図内機器表による 容量等の表示、機器類の能力、容量等（電動機出力は除く）は、原則として表示された数値以上とする
▷ 4. ばい煙濃度計	<input type="radio"/> 設けない <input type="radio"/> 設ける
▷ 5. 煤じん量測定口	<input type="radio"/> 設けない <input type="radio"/> 設ける（煙道直線部に100φ以上のフランジ蓋止とする）
▷ 6. 放熱器等	種別 <input type="radio"/> ファンコイルユニット <input type="radio"/> パッケージエアコン <input type="radio"/> ヒートポンプユニット <input type="radio"/> その他 ()

換 気 設 備

項 目	特 記 事 項
▷ 1. 換気方式	<input type="radio"/> 中央式 <input type="radio"/> 局所式
▷ 2. 主要換気設備	<input type="radio"/> 1種 <input type="radio"/> 2種 <input type="radio"/> 3種 <input type="radio"/> ユニット型空気調和機 <input type="radio"/> 熱交換形換気扇 <input type="radio"/> ダクト式機械換気 <input type="radio"/> 換気扇 <input type="radio"/> その他 ()
▷ 3. 制御方式	イ. 熱交換換気扇 給気ファン停止 <input type="radio"/> 無 * 0°C <input type="radio"/> 5°C <input type="radio"/> 10°C
▷ 4. 換気扇スイッチ	<input type="radio"/> 別途工事 <input type="radio"/> 本工事 <input type="radio"/> 図示による

排 煙 設 備

項 目	特 記 事 項
▷ 1. 排煙方式	方式 <input type="radio"/> 機械排煙 <input type="radio"/> その他 ()
▷ 2. 排煙口	イ. 形状 <input type="radio"/> スリット形 <input type="radio"/> スイング形 ロ. 開放装置 <input type="radio"/> 手動 <input type="radio"/> 手動及び遠隔操作可能なもの
▷ 3. 防煙ダンパー	イ. 復帰方式 <input type="radio"/> 遠隔式 <input type="radio"/> 手動式 ロ. 操作方式 <input type="radio"/> 電気 <input type="radio"/> その他 ()

給 油 設 備

項 目	特 記 事 項
▷ 1. 給油方式	<input type="radio"/> 個別給油方式 <input type="radio"/> 集中給油方式 <input type="radio"/> その他 ()
▷ 2. 地下オイルタンク	イ. 基礎杭 <input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要 <input type="radio"/> 本工事 <input type="radio"/> 別途工事 ロ. タンク室 <input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 鋼製強化プラスチック製二重殻タンク ハ. 山留め施工 <input type="radio"/> 有り (工法 :) <input type="radio"/> 無し 「危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示」によるほか所轄消防署が承認したもの
▷ 3. 地上オイルタンク	基礎 <input type="radio"/> 本工事 <input type="radio"/> 別途工事 <input type="radio"/> 屋外タンク <input type="radio"/> 屋内タンク <input type="radio"/> 市販品 <input type="radio"/> 製作 (板厚 mm) 「危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示」によるほか所轄消防署が承認したもの 防油堤 <input type="radio"/> 本工事 <input type="radio"/> 別途工事 <input type="radio"/> 設けない

▷ 4. オイルサービスタンク	基礎 ○ 本工事 ○ 別途工事 イ. 給油ポンプ ○ 設ける ○ 設けない ロ. 返油ポンプ ○ 設ける ○ 設けない
▷ 5. 遠隔式油量指示計	○ 設けない ○ 次により設ける a) 取付方法 ○ 専用蓋 ○ 油槽蓋内 ○ その他 () b) 指示ユニット: 製造者標準型とし図示による
▷ 6. 集中給油設備計装 工事区分	* 集中検針盤からレベラーまでの計装配管配線は本工事 ○ その他 ()
▷ 7. 集中給油設備計装 試験調整工事区分	* 集中検針盤からレベラーまでの通信状況確認は本工事 ○ その他 ()
▷ 8. その他	○ ()

○ 自動制御設備

項 目	特 記 事 項
▷ 1. 制御方式	○ 電気式 ○ 電子式 ○ デジタル式
▷ 2. 計測範囲	○ 温度 ○ 湿度 ○ その他 ()
▷ 3. 計測箇所	図示による
▷ 4. 計測機器	図内機器表による
▷ 5. 低圧屋内配線	標準仕様書 (第4編 第1章第5節及び第2章第3節) による

○ 給 水 設 備

項 目	特 記 事 項
▷ 1. 給水方式	○ 水道直結直圧方式 ○ 水道直結増圧方式 ○ ポンプ直送方式 (○ 上水 ○ 井水) ○ 高置タンク方式 (○ 上水 ○ 井水)
▷ 2. 屋外給水引き込み管	既設配水管 (○ 分水新設 ○ 既設分水以降接続) 既設敷地内給水引き込み管 (○ 分水新設 ○ 既設分水以降接続) 配水管新設 (○ 負担金 ○ 専用 ○ 布設替)
▷ 3. 量水器	○ 借受品 ○ 新品購入 (水道管理者指定品)
▷ 4. 量水器柵	○ 水道管理者指定品 ○ 図内規格品
▷ 5. 量水器集中検針盤 計装工事区分	* 集中検針盤から量水器までの計装配管配線は本工事 ○ その他 ()
▷ 6. 量水器集中検針盤 試験調整工事区分	* 集中検針盤から量水器までの通信状況確認は本工事 ○ その他 ()
▷ 7. 受水タンク	イ. ○ 上水用 () ○ 本工事 ○ 別途工事 ロ. ○ 井水用 () ○ 本工事 ○ 別途工事 ハ. 制御方法 フロートレススイッチ ポールタップ・定水位調整弁 その他 ()
▷ 8. 給水装置	ニ. 警 報 ○ 満水 ○ 減水 ○ 低水位遮断 ○ 故障 イ. 給水ポンプ ○ 揚水用ポンプ ○ 床置型 ○ 水中型 ○ 水道用直結加圧形ポンプユニット ○ 小形給水ポンプユニット

	<input type="radio"/> 床置型 <input type="radio"/> 水中型 <input type="radio"/> 吐出し圧力一定制御 <input type="radio"/> 末端圧力推定制御 <input type="radio"/> その他 ()
	ロ. 圧力タンク <input type="radio"/> 自動空気補給式 <input type="radio"/> 隔膜式 <input type="radio"/> その他 ()
	ハ. 高置タンク <input type="radio"/> FRP製 () <input type="radio"/> その他 ()
	ニ. 制御方法 <input type="radio"/> フロートレススイッチ <input type="radio"/> 圧カスイッチ <input type="radio"/> その他 ()
	ホ. 警 報 <input type="radio"/> 満水 <input type="radio"/> 減水 <input type="radio"/> 低水位遮断 <input type="radio"/> 故障 <input type="radio"/> ()
▷ 9. その他	<input type="radio"/> ()

○ 排 水 設 備

項 目	特 記 事 項
▷ 1. 排水方式	<input type="radio"/> 自然流下 <input type="radio"/> 強制排水
▷ 2. 排水柵及び蓋	イ. インバート柵 <input type="radio"/> コンクリート柵 <input type="radio"/> 角型 <input type="radio"/> 丸型 <input type="radio"/> 市販コンクリート管 <input type="radio"/> 現場打 <input type="radio"/> 塩ビ柵【蓋 <input type="radio"/> 塩ビ <input type="radio"/> T8】 <input type="radio"/> その他 (市・町・村・型)
	ロ. ため柵 <input type="radio"/> コンクリート柵 <input type="radio"/> 角型 <input type="radio"/> 丸型 <input type="radio"/> 市販コンクリート管 <input type="radio"/> 現場打 <input type="radio"/> 塩ビ柵【蓋 <input type="radio"/> 塩ビ <input type="radio"/> T8】 <input type="radio"/> その他 (市・町・村・型)
	ハ. 蓋 <input type="radio"/> 鋳鉄製 (<input type="radio"/> 耐重 <input type="radio"/> 重量 <input type="radio"/> 軽量) <input type="radio"/> コンクリート製 <input type="radio"/> その他 (市・町・村・型)
▷ 3. 浄化槽設備	イ. 方式 <input type="radio"/> 長時間ばっ気 <input type="radio"/> 回転板接触 <input type="radio"/> 接触ばっ気方式 <input type="radio"/> その他 ()
	ロ. 形式 <input type="radio"/> 現場施工型 <input type="radio"/> ユニット型 処理対象 <input type="radio"/> 汚水 <input type="radio"/> 雑排水 <input type="radio"/> その他 () 処理水量 (m ³ /日) () 人槽 放流水水質 (BOD ppm)
	ハ. ブロアー設置場所 <input type="radio"/> 機械室内 <input type="radio"/> 浄化槽内 <input type="radio"/> その他 ()
	その他 設置浄化槽型式決定後直ちに施工承諾申請図及び計算書を 工事監督員へ提出すること
▷ 4. 清掃消毒	イ. 作業方法 ・ 洗浄吐出圧力7MPa、吐出量25～70ℓ/minで清掃 清掃後、消毒剤にて消毒洗浄する <input type="radio"/> 屋内雑排水管 <input type="radio"/> 汚水管 <input type="radio"/> 大便器 <input type="radio"/> 小便器 <input type="radio"/> 洗面器

▷ 5. その他	<input type="radio"/> 掃除流し <input type="radio"/> 事務室流し <input type="radio"/> 厨房流し <input type="radio"/> グリストラップ ・洗浄吐出圧力7MPa、吐出量40～70ℓ/minで清掃 清掃後、消毒剤にて消毒洗浄する <input type="radio"/> 屋外排水管 <input type="radio"/> 排水桝 ・洗浄吐出圧力7MPa、吐出量40～70ℓ/minで清掃 <input type="radio"/> ルーフドレン管 □. 消毒剤 ・次亜塩素酸ナトリウム溶液 濃度 100mg/ℓ 換気ドレン、水抜ドレン、バルコニードレン及び耐火二層管は保温を施さない
----------	---

給湯設備

項 目	特 記 事 項
▷ 1. 給湯方式	<input type="radio"/> 給湯ボイラー (<input type="radio"/> 単独 <input type="radio"/> 暖房併設) <input type="radio"/> 熱交換器 <input type="radio"/> 貯湯タンク <input type="radio"/> ガス湯沸器 (<input type="radio"/> 貯湯式 <input type="radio"/> 瞬間式 <input type="radio"/> 別途リース品対応) <input type="radio"/> 電気湯沸器 (<input type="radio"/> 貯湯式 <input type="radio"/> 瞬間式) <input checked="" type="radio"/> 潜熱回収型ガス給湯暖房機 (リース) <input type="radio"/> その他 ()

衛生器具

項 目	特 記 事 項
▷ 1. 衛生器具及び付属機器	図内器具表による

消火設備

項 目	特 記 事 項
▷ 1. 用途区分	消防法施行令別表第1による区分 (() <input type="radio"/> イ <input type="radio"/> ロ <input type="radio"/> ハ <input type="radio"/> ニ)
▷ 2. 消火方式	<input type="radio"/> 連結送水管 <input type="radio"/> 屋外消火栓 <input type="radio"/> 屋内消火栓 <input type="radio"/> スプリンクラー <input type="radio"/> 連結散水 <input type="radio"/> 不活性ガス <input type="radio"/> 泡消火 <input type="radio"/> 粉末消火 <input type="radio"/> フード等簡易消火 <input type="radio"/> 消火器 <input type="radio"/> 共同住宅用スプリンクラー設備 <input type="radio"/> その他 ()
▷ 3. 屋内消火栓箱	<input type="radio"/> HB-1 (<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> 易操作性 <input type="radio"/> 消火器箱併設) <input type="radio"/> HB-4 (<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> 広範囲形 <input type="radio"/> 消火器箱併設) <input type="radio"/> その他 ()
▷ 4. 消火ポンプユニット	<input type="radio"/> 揚水加圧 (火災報知器と連動) <input type="radio"/> その他 () 図内機器表によるほか日本消防設備安全センターの認定証票が貼付されたもの 制御盤には火報起動リレー組込スペースを設けること

○ ガス設備

項目	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ▷ 1. 種類 ▷ 2. 機器 ▷ 3. 施工 ▷ 4. ガス漏れ警報器 ▷ 5. ガス漏れ警報設備 計装工事区分 	<p>○ 都市ガス ○ 液化石油ガス (○ ボンベ供給 ○ バルク供給) ○ その他 ()</p> <p>図内機器表による</p> <p>○ 都市ガス………ガス事業者の責任施工とする ○ 液化石油ガス……標準仕様書第6編第3章による ○ その他のガス………高圧ガス保安法の規定に基づく</p> <p>○ 有 ○ 無 ○ 別途リース品対応</p> <p>都市ガスの場合 * 警報器用基台(基台共)からガスメーターまでの配管配線は本工事 ○ その他 ()</p> <p>液化石油ガスの場合 * 警報器用コンソール(別途)からガスメーターまでの配管配線は本工事 ○ その他 ()</p>

○ 厨房機器

項目	特記事項
▷ 1. 厨房機器	<p>図内機器表による</p> <p>機器表に記載のない事項は、標準仕様書第5編第1章第6節による</p>

○ 環境配慮改修工事

項目	特記事項
▷ 1. 石綿含有建材の除去工事	<p>改修工事標準仕様書(建築工事編)第9章及び以下による。</p> <p>施工調査 (9.1.1)</p> <p>建材の石綿含有調査は、次による。 施工調査の結果を書面により監督員へ報告する。 施工調査の結果、設計図書等と異なる場合は、工事監督員と協議する。</p> <p>(1) 調査範囲 (9.1.1)</p> <p>○ 分析調査 _____ヶ所 調査部位 _____</p> <p>○ 分析調査済：含有建材等は図面による。 分析結果 ○ 石綿含有 ○ 石綿非含有 分析方法は、JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有率測定法」とする。</p> <p>○ 既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 ○ 貸与 ○ 無</p> <p>(2) 分析方法 (9.1.1)</p> <p>* JIS A 1481-2 (建材製品中の含有率測定方法—第2部：試料採取及び石綿含有の有無を判定するための定性分析方法)とする。</p> <p>○ _____</p> <p>(3) 石綿含有建材除去後の仕上げ ○ 図示 (9.1.1)</p>

	<p>(4) 石綿粉じん濃度測定 * 行う ○ 行わない (9.1.1)</p> <p>測定方法 ○ 図示 ○ _____</p> <p>測定時期 ○ 図示 ○ _____</p> <p>測定場所 ○ 図示 ○ _____</p> <p>測定箇所数 ○ 図示 ○ _____</p>
<p>▷ 2. 除去工事共通事項</p>	<p>(1) 処理を行う吹付け材の種類及び処理方法 種類 _____</p> <p>処理方法 * 除去 ○ 封じ込め ○ 囲い込み (処理を行う範囲は図示)</p> <p>(2) 処理を行う保温材等の種類及び処理方法 種類 _____</p> <p>処理方法 * 除去 ○ 封じ込め ○ 囲い込み (処理を行う範囲は図示)</p>
<p>▷ 3. 石綿含有吹付け材の除去等</p>	<p>(1) 石綿含有吹付け材の除去方法 (9.1.3) * 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による ○ _____</p> <p>(2) 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置及び梱包 (9.1.1 9.1.3)</p> <p>① 飛散防止措置 * 湿潤化 ○ 固化</p> <p>② 梱包 * 密封処理(二重袋梱包) ○ _____</p> <p>(3) 除去した石綿含有吹付け材等の処分方法 (9.1.3)</p> <p>○ 埋め立て処分 * 管理型最終処分場 場所: _____ ○ _____ 場所: _____</p> <p>○ 中間処理 * 無害化処理施設 場所: _____ ○ _____ 場所: _____</p>
<p>▷ 4. 石綿含有保温材等の除去</p>	<p>(1) 石綿含有保温材等の除去方法 (9.1.4)</p> <p>種類: _____</p> <p>除去方法 ○ 切断又は破砕 ○ 手ばらし ○ 切断 ○ 作業場の隔離 ○ 本体搬出</p> <p>種類: _____</p> <p>除去方法 ○ 切断又は破砕 ○ 手ばらし ○ 切断 ○ 作業場の隔離 ○ 本体搬出</p> <p>(2) 作業場の隔離 * 行う ○ 行わない (9.1.4)</p>
<p>▷ 5. 石綿含有成形板等の除去</p>	<p>(1) 石綿含有成形板の種類 (9.1.5)</p> <p>種類 _____</p> <p>種類 _____</p> <p>種類 _____</p> <p>(2) 石綿含有せっこうボードの石綿含有吹付け材等の処分 (9.1.5)</p> <p>○ 埋め立て処分 * 安定型最終処分場 場所 _____</p> <p>(3) 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有吹付け材等の処分 (9.1.5)</p> <p>○ 埋め立て処分 * 安定型最終処分場 場所 _____ ○ _____ 場所 _____</p> <p>○ 中間処理 * 無害化処理施設 場所 _____ ○ _____ 場所 _____</p>

○ その他

項 目	特 記 事 項
<p>▷ 1. 概数等発注</p>	<p>(1) 次に示した項目の工事数量は概数であり、必要に応じて設計変更するものとする。 なお、設計に対して過大な出来高数量に変更するものではないことに留意すること</p> <p>7. 工事数量総括表細目別内訳又は別紙明細の備考欄に「概数」又は「概」と表示された項目</p> <p>4. 次の項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ <p>(2) この工事においては、設計変更図書の作成（設計変更図面の作成及び工事数量の算出）を受注者に行わせることができる。</p> <p>(3) 概数として取り扱っている事項の施工に当たっては施工前に工事監督員と協議すること。 なお、数量の確認ができない場合を除き、施工前に数量を確定すること。</p> <p>(4) 概数として示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、取り合い等によって新たに必要となる項目についても概数として取り扱うことがある。</p>